

～確かな実績と圧倒的な行動力～

県を動かす我孫子市に!

討論資料



やる気! 元気! ゆっきー!

千葉県議会議員 我孫子市選出 | ゆう can change! vol.31

みずの 水野ゆうき 36歳 無所属

市民・県民のことを第一に考える無所属・最年少女性議員として一生懸命働き、多くの政策を実現しました。選挙の前だけ突然現れる政治家とは一線を画し、寒い冬も暑い夏も議会後には必ず駅頭や県政報告会などで議会報告を行い、地域の皆さんとたくさん交流し、地道な活動を続けてきました。水野ゆうきの後ろに政党や組織はなくとも主体性を持ったたくさんの市民が併走してくれています。

10 すべての人々をサポートするきめ細かい福祉政策

【増大する医療・介護ニーズに質の高いサービスを】

千葉県では団塊の世代が後期高齢者となる2025年には約3.3人に1人が高齢者となる見込みであり、75歳以上の人口も100万人を越えることが予想されています。増大する医療・介護ニーズに対応できる体制整備に水野ゆうきは取り組んでいます。

【看取りを含む在宅医療の充実】

→医療・介護従事者の人材育成と在宅医療提供体制の整備促進

【急速な高齢化に伴う救急体制の強化】

→医療機関の役割分担、連携促進、地域包括ケアシステムの実現

【医師・看護師などの医療従事者の確保】

→修学資金貸付、看護師等養成所の設置、病院内保育所運営支援等

【がんの予防と早期発見・早期治療】

→がん検診受診率向上

【福祉・介護人材確保と定着】

→負担軽減や処遇改善で働きやすい労働環境づくり

【すべての子供たちに温かい家庭空間を】

【児童相談所の体制強化と専門性向上】

前進! 児童福祉司など専門職員の増員と弁護士との配置

前進! 千葉県は今後5年間で児童相談所の職員を約200名増員

(そのうち児童福祉司は約110名、児童心理司は約60名を増員)

【子ども医療費助成「通院助成の対象年齢と補助率の引き上げ」—経済的負担の軽減と自治体間格差の是正—】

千葉県の「子ども医療費助成」は入院助成は中学3年生までが対象ですが、利用の多い通院助成は対象が小学3年生までにとどまっていることから、市町村独自で補助を行い市町村格差が生じています。通院助成の対象年齢の引き上げと現行の市町村に対する子ども医療費の補助率2分の1を更に引き上げるよう要望しています。

【里親等による家庭的養護の推進】

虐待や親の病気等で保護者と暮らせない子どもを救うため、水野ゆうきは施設ではなく、家庭的な環境で生活することができる里親制度の推進に取り組み、大きく前進しています。

実現! 千葉県内6児童相談所管内毎に里親説明会(新規事業)を実施

実績 里親登録及び里親等の委託の増加

	平成29年度	平成25年度	増加数・率
里親登録数(組)	480	375	105
受託里親数(組)	178	135	43
委託児童数(人)	272	188	84
里親等委託率(%)	25.3	19	6.3

【障がいのある人が地域でその人らしく暮らせる共生社会の構築】

【千葉県における『障がい者雇用率算出誤り・水増し問題』を厳しく追及し、採用枠の拡大実現!】

実現! 身体障がい者に限定されていた採用を知的及び

精神障がい者まで拡大(知事部局・教育庁)

実現! 平成30年度障がい者の方を対象とした千葉県職員採用

選考考査の追加実施

【障害のある人の就労支援】

水野ゆうきは千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問を務めています。

特別支援学校や事業主、関係機関と連携をし、企業等を訪問して職域の開拓や職場への定着支援による障がい者雇用支援施策展開に取り組んでいます。

【水野ゆうきからのメッセージ】

県民へ議会報告を行うことは政治家の責務です。水野ゆうきの一般質問には我孫子市民50~100名の方々に千葉県庁まで傍聴にお越しいただき、いかに地域住民の生活に密着している案件が県政に多いかを実感してもらいます。二元代表制という地方政治の仕組みからも党利党略から脱却した、しがらみのない政治家として議会や行政に働きかけます。

ブログ◆ <https://ameblo.jp/yuukimizuno/>
facebook◆水野友貴 twitter◆@yuukikitten

水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは公式ホームページまで

<https://mizunoyuuki.com/>

ホームページ▶



【プロフィール】1983年、我孫子市根戸生まれ、白山育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入。帰国後、私立茗溪学園中学校・同高校卒、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流企業にて約3年間勤務後、民放テレビ局勤務(報道局経済部所属・BS フジ LIVE『PRIME NEWS』担当)。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙当選。

【役職】千葉県議会会派「千翔会」幹事長、千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期成同盟顧問、我孫子ライオンズクラブ幹事、地元自治会副会長など。

【資格】英検準1級、TOEIC815点、漢検2級、秘書検2級など
【受賞歴】郵政大臣賞、関東郵政局長賞、学習研究社賞など多数(全て文章)

【スポーツ】千葉県議会柔剣道部・バスケットボール部所属

水野ゆうきが掲げる10本の政策柱 4年間の軌跡

1 女性の声を届ける! ~子育て環境の整備と女性特有の課題解決~

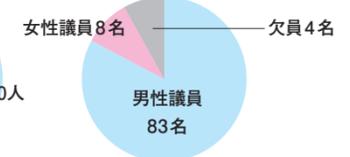
【実態】1割にも満たない千葉県議会の女性議員!

千葉県議会の定数95名中、現在女性議員はたったの8名しかおりません。人口の半分は女性であるにも関わらず、あまりにも女性議員が少なすぎます。千葉県唯一の男女共同参画宣言都市である我孫子市から水野ゆうきが女性の声をチカラに変えていきます!

【千葉県総人口】6,222,666人
(※平成27年国勢調査)



【千葉県議会議員】定数95名
(※平成30年12月現在)



【女性の妊娠・出産支援体制の充実】

前進! 千葉県特定不妊治療費助成事業の充実

前進! 様々な事情から妊娠出産に不安や悩みを抱える女性に対して助産師や看護師が対応する新規事業「妊娠SOS相談事業」が決定し予算計上!

【保育園における多様な保育ニーズに合ったきめ細やかな保育サービスの展開】

実現! 子どもを保育園に預けている保護者が突然失職した場合、1か月の就職活動期間の猶予の期間を過ぎても、「年長に限っては」就職活動を続けていればお子さんを預けられることに!

【女性の積極的登用と働く女性の環境整備~公平な採用と人事~女性人材の育成・支援、子育て支援、多様な働き方の促進と柔軟な制度・環境整備に取り組んでいます。

【女性特有のがん対策~仕事と治療の両立に向けて~】

2018年の乳がんによる死亡数は14,285人と増加し続け、女性の30歳から64歳では乳がんが死亡原因のトップとなっています。また若い世代の罹患率が高まっている子宮頸がんでは毎年約2,700人が亡くなっています。水野ゆうきはがん検診の受診率向上と、定期的な検診機会の確保による早期発見の施策を提言し、がんと闘う働く女性が職場においても適切な就業上の配慮が行われるよう、事業者団体を通じて働きかけるなどして仕事と治療の両立支援策に取り組んでいます。

2 交通安全対策 ~歩道のバリアフリー化~

水野ゆうきは子供たちの通学路でもある国道356号沿いや県道の電柱の移設や点字ブロック設置を進め、バリアフリー化を大きく前進させています。ベビーカーや車椅子を利用される方々にとって、交通安全対策は喫緊の課題です。



【電柱移設】

前進! 国道356号寿地区、布佐地区内の県道など完了

【点字ブロック設置(視覚障がい者の皆様より水野ゆうきへ要望)】

前進! 東邦病院、名戸ヶ谷病院、我孫子市役所につながる道路、我孫子市寿2丁目地先完了

【道路標示補修・歩道の段差解消】

前進! 台田地区など完了。要望個所を随時対応・解決

3 地域防災力の向上と防災対策の強化 ～防災先進県へ～

水野ゆうきは総務防災常任委員会に4年間所属しています。

国では今後30年の間に千葉県を含む南関東地域においてマグニチュード7程度の大規模な地震が70%の確率で発生すると予測しています。水野ゆうきは数々の具体的な防災対策を実現に導き、防災・減災対策に全力で取り組んでいます。

実現! 千葉県の「地震体験車」を我孫子市に誘致(のべ600名体験)



実現! 災害用備蓄の充実～女性目線・食の要援護者の備蓄～

→生理用ナプキン、乳児用液体ミルクの解禁による供給体制の整備、アレルギー対策としてアレルギーを含まないアルファ米を備蓄

実現! 手賀沼終末処理場に保管されている下水汚泥焼却灰の指定廃棄物の安全対策

→仮設倉庫に保管されていた約370トンの建屋内移設を実現

実現! 千葉県内各地域特有の被害予測に応じた防災冊子「ちば地震防災ガイド」を配布

前進! 千葉県内各地でシェイクアウト訓練の推進

前進! 県民の防災意識の向上

→防災イベント「みんなの防災」を千葉県内各地で開催

前進! スタンドパイプの普及(消防が駆けつけられない大規模災害時における消火活動)

継続して水野ゆうきが取り組んでいます!

避難所における公衆無線LAN設置促進!

～けやきプラザに設置を～

課題! 県内の避難所等の防災拠点公衆無線LAN整備は3割台! けやきプラザは災害時における帰宅困難者の一時滞留施設です。災害時に必要な情報伝達手段を確保するために避難所等の公衆無線LAN環境の整備を促進します。

千葉県の防災拠点となる庁舎の耐震化

課題! 千葉県の防災拠点となる庁舎の耐震化状況は76%で、全国都道府県88.9%と比較して低く、いつ来るかわからない災害に備え早急な対応を求めています。

災害時の避難所におけるトイレ対策

災害時に避難所となるトイレの環境整備を進めています。

4 「する」「見る」「支える」スポーツ政策 ～東京2020～

水野ゆうきは千葉県議会スポーツ振興議員連盟幹事を務めています。

千葉県では東京2020において8種目の競技が開催されます。水野ゆうきは日本でオリンピック・パラリンピックが行われる時代に生きる児童生徒に、世界で活躍する選手たちに会う機会を提供しています。



日本フェンシング協会と連携したフェンシング学校訪問

実現! 太田雄貴日本フェンシング協会会長(五輪2大会連続メダリスト)とともに森田知事に千葉県内の学校でのフェンシング教室の実施等を直接提案し、即座に実現させました。(我孫子市では久寺家中学校と新木小学校で実施)

東京オリンピック・パラリンピック教育推進校の拡大

実現! 平成29年度の30校から65校に拡大。我孫子市では久寺家中学校がオリンピック・パラリンピック教育推進校に指定されました。

東京2020への機運醸成に向けた情報発信事業を展開

実現! オリンピック・パラリンピック関連番組放送開始

実現! 「ちばの魅力発信隊」を結成(SNSを活用したインバウンド政策)

スポーツ観戦文化の普及・啓発

我孫子市出身のスポーツ選手の応援体制の確立

5 電車通勤・通学、駅利用者の強い味方!

水野ゆうきは学生時代から我孫子駅を利用し、電車通勤・通学の経験から快適な駅・電車空間の提供に努め、県やJRに働きかけています。

上野東京ラインの朝と夕方の増発

実現! 2017年上野東京ライン(常磐線 直通列車)の増発のダイヤ改正実施。常磐線・成田線から上野東京ライン乗り入れ本数拡大!

継続して水野ゆうきが取り組んでいます!

我孫子駅構内のエレベーター設置

成田線増発

特別快速我孫子駅停車

6 手賀沼の環境保全 ～手賀沼本来の美しさを取り戻す～

水質改善

課題! COD(代表的な水質指標の一つ)が環境基準の5ml/L未達成で、近年は横ばいで推移しており改善がみられていません。

前進! 手賀沼の水質汚濁のメカニズム解明の予算計上

特定外来生物・ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ等の繁茂に適切な対応を!

課題! 水から離れて陸でも生息、繁茂し、水田耕作地への侵入が懸念されている特定外来生物が手賀沼に広がり、対応が追いついていません。

【水野ゆうきの提案】

・手賀沼水環境保全協議会などの場を活用し、情報共有を行いながら、流域住民や行政等の連携による駆除方法の確立
・処分方法の明確化(外来生物法により持ち運びなどに関して様々な規制有)と住民への周知

【今なお増殖が続いている手賀沼南東に広がるハス群落】

課題! 平成29年8月の調査で1965年の約16倍の23.6ヘクタールまで拡大していることが判明。手賀沼本来の植生、生態系などに影響を及ぼすことが懸念されているため、効果的な刈り取り方法や成育抑制手法の検証を進めています。

7 若い世代のチカラを地域の活力に! ～先進技術や新たな視点を街づくりに活かす～

若い世代の街づくりの参考

水野ゆうきは大学等で地方政治について講義し(東洋大学、慶応大学、千葉大学、学習院大学など)、若い世代の街づくりや政治参画を促しています。



実現! 慶応義塾大学の学生とともに我孫子市PR動画を制作し、You Tubeに掲載

実現! 学生たちとともに「水野ゆうき県政報告会」を開催

ICTの進展とIoT・AIなどの普及

製造業、農業、医療、介護、交通などにおけるIoT・AIの戦略的な活用を促進するために、情報活用能力の向上、情報格差解消、担い手人材育成に取り組めます。

8 教育現場の環境改善 ～すべての子供たちに平等な教育を!～

ICT教育の環境整備の充実

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されます。水野ゆうきはタブレット型端末の整備やソフト購入費補助等、ICT教育の環境整備の充実に取り組んでいます。

不登校といじめをなくす!

水野ゆうきは千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟幹事を務めています。

前進! スクールソーシャルワーカーの増員(平成29年度に4名増員され、県内に12校あるすべての地区不登校等対策拠点校に配置)

教職員の多忙化解消・教員の勤務環境の改善

→教職員の定数改善を要望していきます。

代替教員不足と教職員の未配置改善

課題! 教員が産休・育休や病気・介護休暇に入った際に、代替の教員が間に合わないケースが千葉県で発生しています。講師登録者の確保と採用告知の手段改善に取り組めます。

生徒の安全確保のための空調整備

前進! 県立学校の普通教室にエアコン設置の予算計上

9 議会改革! ～情報公開の推進と差別のない議会を目指します～

政務活動費の全面公開を!

千葉県議会最大会派の自民党、他2名の議員の反対により政務活動費収支報告書等のホームページ上での公表及び電磁的媒体での交付に関する申請が不採択となっています。水野ゆうきは申請の紹介議員でもあり、政務活動費の全面公開を訴えています。税金である政務活動費の収支報告を公開できない理由はありません。

議員定数の削減と見直しによる多様な議会へ

課題! 千葉県議会の議員定数は95名からわずか1名減の94名。一切質問を行わない議員もあり、依然として多い実態があります。一部の大政党の意見だけが反映される議会ではなく、二代表制のもと、多様な意見が反映される議会を目指し、選挙区・定数の見直しを継続的に行っていきます。

